

# 議会報告・意見交換会報告書

NO. 1

(3班)

<b>開催日時</b>	平成 30年 4 月 25 日 (水) 午後 7 : 0 0 ~ 午後 8 : 5 0		
<b>開催場所</b>	小野公民館		
<b>出席議員</b>	議員名①	(班長) 大谷 敏彰	
	議員名②	坂本 盛男	
	議員名③	松野 勝美	
	議員名④	梅原 竜也	
		<b>氏 名</b>	
	<b>司 会</b>	松野 議員	
	<b>開会挨拶</b>	和田 自治会長	
	<b>閉会挨拶</b>	野田 自治会長	
	<b>記 録</b>	梅原 議員	
<b>参加人数</b>	16名 (内訳：男性12名、女性4名) / アンケート回収 14名		
<b>主 意 見 要 望 回 答</b>	<b>事前提出のテーマ</b>		
	<p>(1) 小野地区大規模土砂崩れの地質調査について (議員)</p> <p>30年度当初予算で事業費5000万円を計上。その後、大分県砂防課土木事務所が3月中に踏査及び地質調査を実施。市は4月10日に関係各課、県と現地確認を行い市の実施予定区域以上の範囲で県の専門家、コンサル事業者等と踏査調査、ボーリングの地質調査等を実施。県より崩落場所以外には過去の地すべりの痕跡がある。29年災の地滑り箇所椰野集落以外で安全ではないが対応が必要な緊急性のある場所はない。との結果を受けた。</p> <p>今後、市の事業で調査は行わないとのことで、4月18日に執行部から「崩落部に安定の為のアンカーを5、6箇所打ち込み、地中の水抜き用のボーリング施工を2箇所行っている。現状では、同規模の崩落が起こることも想定され、今後しっかりとした対策を練っていかねばならない。」との説明を受けた。これを受け、5000万円の予算で踏査調査は、どのような調査をしようとしていたのかという総務環境委員会の質問に執行部は、「当初は、現地調査を行い地質調査、ボーリング調査をする予定でありその後、断面図を作成し地すべりの外積、必要に応じ伸縮計器等装置による解析を行う計画であった。」との回答。</p> <p>県の調査について執行部に確認したところ、「県が発注した専門家、コンサル</p>		

# 議会報告・意見交換会報告書 NO.2

(3班)

開催日時	平成30年4月25日(水) 午後7:00～ 午後8:50
開催場所	小野公民館
<p>主 意 見</p> <p>・</p> <p>要 望</p> <p>・</p> <p>回 答</p>	<p>が山を歩き次に何が必要かを今回判断した。踏査、ボーリング調査を実施し次の段階に行く中で踏査の部分を今回県がしてくれた。」その言葉の関係は、執行部曰く「緊急性がない」と述べたが、「安全という事は専門家や研究者でも言えないので今の所、長年の地質調査、経過を見てすぐにどうこういう事はないと言う意味で緊急性がない。」と県から報告を受けたとのこと。</p> <p>また、委員から耶馬溪の件で、雨も降っていない。地震もない。でも滑り落ちた。地元にとって同じ地形ではないか。日田と耶馬溪の地形の違いが分かれば教えて欲しい。執行部から「耶馬溪は溶解山といい阿蘇の火山が爆発した時に固まったものでその上に土砂がのり、自然に長い間で土が風化して今回の事故になった。場所によっては一概には言えないが、耶馬溪と小野は基本的に阿蘇の火山でできた物と思われる。心配すると大分県全部になってしまうので場所によって違う認識をもった方が良い。と思っている。」また、委員から全国でも何10万箇所、県内でも何箇所か危険箇所があるが、この結果を議会もこの説明で緊急性は安全性とまでいかないが、緊急性はないと言う話だが、あくまでも日田の隣で起きており、説明会の時に丁寧に説明をしなければ地元の人はそれを考えたらきりが無い。この報告は確かに理解するが、住民の不安を取り除いた地元説明会をして了解を頂ければ良しとし、どうしてもというならきちんとした対応をすべきである。との意見であった。執行部からは、「住民に十二分に説明をしていく。」との回答であった。他にスリットダムの新設や椰野地区左岸の調査も必要と言った意見もあった。</p> <p>(2) 住民自治組織の経緯(上津江・中津江)について (議員)</p> <p>住民自治組織の基本的な方向性は、住民による自治の必要性は概ね理解を得ていると考えるが組織の形態や業務内容に関しては、住民との丁寧な対話による合意形成が必要である。対話を通して自分たちのまちを自分たちで作っていくという機運の醸成をはかり住民自治組織の立上げを図りたい。</p> <p>中津江地区の取組は、29年度に自治組織の設立に向けた村づくり会議を24回。上津江地区の取組は、地域全体のまちづくり会議を3回、自治会ごとのまちづくり会議を2回開催している。地域の行事の見直しから始めていくと言う事で今後、天瀬、大山、前津江地区の取組については、雲南市や東広島市への視察と地域ごとの講演会等を実施している。</p> <p>30年度からファシリテーターを入れ住民自治組織設立に向けた本格的な話し合いを開始する。課題という事で、市の業務の委託について住民自治組織に</p>

# 議会報告・意見交換会報告書 NO.3

(3班)

開催日時	平成30年4月25日(水) 午後7:00～ 午後8:50
開催場所	小野公民館
<p>主 意 見</p> <p>・</p> <p>要 望</p> <p>・</p> <p>回 答</p>	<p>委託移譲できる業務の調査や具体的な方法課題について担当課との調整を行い必須事業として住民自治組織が選択できるものと仕分けをする必要がある。</p> <p>今後の予定は、30年度に中津江地域での組織の立ち上げを考えている。天瀬、大山、前津江、上津江地区での組織の立ち上げに向けた話し合いを行っていく。31年度には準備が整った地域から住民自治組織を開始していきたい。</p> <p>(3) 小野小学校の復旧対策(現状と今後のスケジュール)について(議員)</p> <p>小野小学校の校舎、屋内運動場、グラウンド等については、29年10月末に全て整備が完了。また、今後の浸水対策として、学校敷地の周辺にコンクリート擁壁(総延長156m)の設置を3月末に完了している。</p> <p>市教委としては、児童の命を守ることを第一に考え、小野小学校での授業の再開については、梅雨等の出水時期における道路や河川、急傾斜地等の状況や、学校周辺の復旧状況を見守るとともに、保護者や地域の方々の意見を伺いながら慎重に判断していきたいと考えている。</p> <p>(4) 国民健康保険広域化に伴う保険料について(議員)</p> <p>4点大きく変わっている。</p> <p>1点目、加入者資格の管理が日田市から大分県へ。保険証の更新時期が8月1日に変更された。また、70歳から74歳の方がお持ちの高齢受給者証が保険証と一体化される。</p> <p>2点目、高額療養費の多数回該当通算方法。1年間のうち高額療養費に4回以上該当した場合、限度額が変わる。例えば、市民税非課税世帯では自己負担限度額が35,400円だが4回以上(多数回該当した場合)24,600円となる。</p> <p>3点目は、葬祭費給付金制度の減少。30年度から日田市は、葬祭費給付金が35,000円から20,000円に減少。これは、大分県内一律となる。</p> <p>4点目は、保険税額。28年度実績では、日田市の保険税額は128,932円だが、30年度では、129,270円。28年度実績に比べると388円の上昇となる見込み。県下18市町村の中では、6番目に高い金額であり県の平均は、127,767円、2,757円の上昇となっている。日田市との県平均の差額は、1,503円となっている。</p> <p>県内で一番金額の高い市は、竹田市で149,030円、28年度比4,18</p>

# 議会報告・意見交換会報告書 NO.4

(3班)

開催日時	平成30年4月25日(水) 午後7:00～ 午後8:50
開催場所	小野公民館
<p>主 意 見</p> <p>・</p> <p>要 望</p> <p>・</p> <p>回 答</p>	<p>5円上昇。一番低い金額の市は、姫島村の94,952円、28年度比マイナス5,459円となっている。30年度の最終的な金額は、6月に決定する。</p> <p>(5) 小野川河川プール復旧問題(地元説明がなく、新聞で知った) (議員)</p> <p>3000万円の予算を補正予算として3月14日に議決した。大変な被災をした河川プール、スライダー等を早期に復旧したいという事で予算を取った。</p> <p>委員会でも河川プールの復旧については、業者としてもたくさんの災害復旧の事業を抱えることになる。どこの河川も含めてこの雨の前に何とかしてもらいたい。という要望が強い。そのような状況の中で河川プールは、7月末のオープンまでに何とか改修をしたい。というのでそれは大事なことであるが、少し懸念がある。それは、沢山の事業を抱えた業者ができるのか。6月から基本的には川の中には入れない。雨が多いので河川の中の改修工事はできない。業者をお願いをして7月末が工期となっている。業者とは4月の第1週に入札契約をしている。しかし、現状を見ても向こうの県河川の改修が若干終わった状況で、今度はこちら側の河川工事とあわせてやるが県からは河川の中に入った工事でないならば、プールの土砂撤去やスライダーの補修等ならできるという事である。雨の状況等あれば工期が8月にずれる場合があるかもしれない。</p> <p>地元説明がなく新聞記事で知ったとの事だが、これまでも公園や河川プールについては地元と協議をしており、駐車場が足りないという事で駐車場を増やしたが、災害があり復旧することが先だという事で地元との協議ができていない。という状況は、認めている。災害復旧ができれば地元との協議を再開できる。子どもたちの安全や道路状況について協議をしたいとのことである。</p> <p>(6) 小川原川、地蔵原川、西河内川、山ノ下川、東河内川の今後について (議員)</p> <p>普通河川は市が管理する河川であり、西河内川、東河内川の復旧の見通しは、国の災害復旧工事となり入札準備はできているが、工事契約室が間に合っていない状況であるが工期は9月20日である。</p> <p>普通河川の山ノ下川は、国の復旧工事の対象にならない。市の単独災害復旧工事となる。お願いはしているが工期については確認していない。</p> <p>法定外水路として小川原川と地蔵原川は、法定外公共物維持管理事業として原材料を支給し地元でやってもらうことになる。予算としては、20万円程度と考えている。生コンにすると20立米位である。もしこれを自治会事業とし</p>

# 議会報告・意見交換会報告書

NO.5

(3班)

開催日時	平成30年4月25日(水) 午後7:00～ 午後8:50
開催場所	小野公民館
<p><b>主 意</b></p> <p><b>望</b></p> <p><b>回 答</b></p>	<p>て業者に頼むと40万円かかった場合、原材料支給が20万円あるとすると残りの20万円は地元負担の問題もあるが災害復旧で場合によっては市の自治会事業を活用すれば地元負担がなくなる。対象となる部分もあるが見積もりの部分もあるので場所に応じて市と協議してもらいたい。</p> <p><b>意見交換</b></p> <p>(A氏)</p> <p>地質調査はこれで大丈夫か。</p> <p>(議員)</p> <p>執行部からは、この部分だけしか聞いていない。今日の新聞には、県が伸縮システムをやっていくと書いており少し執行部からの説明とは違うように思っている。</p> <p>地元の心配事については、きちんと対応してくれるように執行部には提案している。持ち帰り執行部と話し合う。</p> <p>(A氏)</p> <p>地元も4つの部会を立ち上げており行政に意見具申等をしたり来てもらったりしている。議員に伺っても直接答えられる性質のものでもないので意見交換となるのか疑問に思う。議員には、市と県との連携をお願いしたい。どのように考えているのか伺いたい。また、昨日の説明についても県は県、市は市と接点が・・・目指すところは一緒だろうがそのへんを地元としては危惧している。</p> <p>(議員)</p> <p>被災された地域に議会がもっと出てこなければならぬという思いがある。議会としては、一般的な調査とかいう部分についても市民の皆さんの声が上がればもちろん動くが、災害対応に対する詳細な調査部分は、執行部が主導でやっていく。その結果の報告は議会にあるわけで、議会としてはその報告を待った形での行動になっている。執行部より先に地域に入ったら議会は目立っていないかもしれないが、逆に復旧に向けて邪魔にならない形にしておかないといけない部分もある。控えめな分もあるが、きちんとした形で報告を受け地元の方との約束をきちんとしているかの確認をし、そういった声を執行部に伝える役割が今できる範囲である。</p> <p>(B氏)</p> <p>市役所、市議は一生懸命やっているが、報告がないのが第一。プールの件でも新聞報道が先で地元には説明がない。もう少し地元とコンタクトを取ってもらいたい。</p>

# 議会報告・意見交換会報告書 NO.6

(3班)

開催日時	平成30年4月25日(水) 午後7:00～ 午後8:50
開催場所	小野公民館
<p><b>主 意</b></p> <p><b>見</b></p> <p>・</p> <p><b>要 望</b></p> <p>・</p> <p><b>回 答</b></p>	<p>駐車場の所にシャクナゲがあり、市職員が取りますと言ってきたので、皆が関係するところ(集会所付近)に植えてくれと頼んだが、観光課に問い合わせると忘れていた。住民と市の考えは、ギャップがありすぎる。ギャップが多いため苦情が発生する。市の対応は良いが、できない事は出来ないと言ってもらいたい。市議がギャップ(苦情)を無くすように若い人に注意してもらいたい。</p> <p>和田川は、市の川であり市の説明では、1月にやると言い業者も決まったが今も工事をしていない。市に確認したら業者が忙しくて手が回らないとのことであった。連絡、報告をするように議員から市へ頼んでももらいたい。</p> <p>(議員)</p> <p>先程から地元に対する説明不足という事で、小野小学校、河川プール、地質調査については、行政から説明が無かったという事で良いか。</p> <p>(A氏)</p> <p>新聞紙上でしか知らない。</p> <p>(議員)</p> <p>各委員会に新聞記者や傍聴者は、出入りが自由であり公開している。委員会審議の中で執行部が説明をするので記事にはなると思う。委員会に説明する前に地元の説明をしてもらいたいと解釈をして良いか。</p> <p>(B氏)</p> <p>電話1本あれば気分が悪くならない。また、相談もできる。</p> <p>(議員)</p> <p>全体として地元と常に相談をしながら事業の展開をやってもらいたい。という注意、要望があった事を小野の課題として受け止め行政に要望する。</p> <p>(C氏)</p> <p>地質調査については、市が県に上げ指導してもらっている。市が上げて市が来れば私たちも考えるが、市が動かない。危険箇所は何回連れていってもどうにもならない。生活道路で危険な場所が何箇所もある。今年度はまだ、連れていっていないが申し送り等ないのか疑われるような課もある。人が変われば、また連れていかなければならない。また、緊急性がないと言うが、住んでみると緊急性はある。住む人の気持ちになって考えて欲しい。遠目でみて大丈夫ではなく、地元の者は何もなかったところに谷ができたり、石ころが蓄積したり変わっていつている。それを見てきたから訴えている。どのように変わったか深く見て頂きたい。また、県と市との連携ができていない。</p> <p>(議員)</p> <p>市の説明では、全体の調査を地元がしてほしいという事で5000万円の予</p>

# 議会報告・意見交換会報告書 NO.7

(3班)

開催日時	平成30年4月25日(水) 午後7:00～ 午後8:50
開催場所	小野公民館
<p><b>主 意</b></p> <p><b>望</b></p> <p><b>回 答</b></p>	<p>算を付けた。しかし県はそこまでする必要はない。崩落箇所対策を強化すれば良い。災害が起こってなく危険箇所でないところは予算が付かない。県の補助金をもらうために出したが、県の補助はなく市は単独でしなければならない。と聞いていた。</p> <p>(C氏)</p> <p>5000万円はどうなるのか。</p> <p>(議員)</p> <p>6月議会で落とす可能性はある。</p> <p>(C氏)</p> <p>まだ、してもらわないといけないところがたくさんある。</p> <p>(A氏)</p> <p>昨日の説明会で市は、県が実施しなかったらどのような調査をやるつもりだったのか。質問したら、県がやる通りだと説明があった。これでは住民の安心安全が確保されておらず、今後避難者が戻って来れない。昨日の説明では納得がいかない。5000万円を簡単に他に回していいのか思う。</p> <p>(C氏)</p> <p>生活道路で木が倒れそうな箇所がある。木が立っているところは県の事業、下は市道だから市の事業だとどちらかが先にやるのを待っている。松山川などは、今のうちにしておかないとまた、氾濫するし壊れる。川の中には、根が出た木が何本もある。それを見て帰って知らないふりである。</p> <p>(議員)</p> <p>頂いた意見は、執行部に伝える。5000万円については、地元の不安を払拭できるように対応をお願いし委員会でも審議する。</p> <p>(議員)</p> <p>県の調査箇所以外で、地元が心配な所を調査してもらえないか。石が落ちている等そういう具体的な所があれば市に要望もあり得るのではないか。</p> <p>(D氏)</p> <p>県は地滑り調査を歩いて確認、崩落の上部にリスクがありその他は、低いとのことである。ボーリング調査をやったという理解はない。歩いてのみの確認の認識である。県の説明は地滑りを主体に説明。住んでいる人が山に登ると谷に杉が倒れている箇所があり、次の水で落ちるのではないかという地元の人もいる。また、治山ダム上流に杉が倒れて危ない。</p>

# 議会報告・意見交換会報告書 NO.8

(3班)

開催日時	平成30年4月25日(水) 午後7:00～ 午後8:50
開催場所	小野公民館
<b>主 意 見</b> <b>・ 要 望</b> <b>・ 回 答</b>	<p>(議員) この5000万円の事業は、ボーリング調査を含めて地質調査をしながら住民の安心に答える予算であった。 危険な箇所があれば、住民の皆さんで意見をまとめていただき、改めて市に要望する方法は、あるのではないか。</p> <p>(A氏) 7月から9月までボーリング地質調査を10箇所で行う。歩いてみて大丈夫か。また、B地区以外は緊急性の危険性はない。これで本当に住民は、安心だと言えるのか。</p> <p>(議員) 安全という根拠を地質学的に説明があったのか。</p> <p>(A氏) そうは思えない。</p> <p>(議員) 県が別発注したわけではなく、昨年倒壊したところを設計する業者、全国的なコンサルタントにやって頂き踏査をして回った。</p> <p>(D氏) 歩いて見て回ったのは私の認識である。もしかしたら何か他にしているかもしれない。</p> <p>(議員) 今日聞いたことは、踏査だけで安心できるのか執行部に確認したい。</p> <p>(E氏) 自主防災活性化事業について、防災士を育てても若い者ばかりで昨年の災害時でも仕事でいなかった状況である。私たちが欲しいのは、避難場所であり小野にはない。自治会としてどこに避難するかといえば公民館。公民館は、危ない。どこかあれば教えていただきたい。</p> <p>(議員) 公民館が安全だと言えない時代なので、防災組織活性化事業を使っていただいて避難訓練等やって頂きたい。</p> <p>(E氏) 公民館に防災道具を置いていても公民館が危ない場所なので置けない。避難場所として最初から三和小学校に行けと言われれば、行きますし、指示をして頂きたい。自治会判断では難しい。</p>